

聖香油ミサ

日時：4月12日(受難の水曜日)15時
場所：カテドラル大名町教会
司式者：ドミニコ宮原良治司教

◆ミサ後、今年司祭叙階50周年と25周年を迎える司祭のお祝いをいたします。
50周年 ルイ・ベリオン神父
25周年 中村彰神父
 ジュード・ピリスプッレ神父

4月13日(木)

司教座聖堂(カテドラル大名町教会) 献堂記念

教区司教が典礼を司式するとき座る椅子を司教座(カテドラ)と言い、その司教座がおかれた教会堂を司教座聖堂と言います。司教座聖堂は教区の母聖堂と呼ばれ、一小教区の聖堂であることを越えて、司教と共に全教区民が集うところ、その献堂記念日は教区の祝日です。福岡教区では、1927年福岡教区設立以来、司教座は大名町教会におかれ、現在の宮原良治司教まで6代の司教の司教座聖堂となっています。現聖堂は1986年4月13日に献堂されました。今年には聖木曜日にあたるため、このためのミサは捧げられませんが、福岡教区の神の民の発展のため心を合わせてお祈りください。また、今年4月9日(日)が「カテドラル特別献金日」です。福岡教区の宣教活動のための援助をお願いいたします。



ミサを捧げる両手に聖香油の塗油をうけるキム新司祭

鐘が鳴り響く中で始まった、司祭叙階式のミサ。招きの言葉で、宮原司教は「いづくし深い神が教区に大きな恵みと喜びを与えてくださった」と述べた。韓国からも3人の司祭がこの喜びを共に祝うために駆けつけた。キム助祭の姉夫婦と親戚、友人、信徒が韓国から40人ほど参列、全体で約600人の会衆で聖堂は埋められた。

キム新司祭は韓国でお世話になった霊的指導司祭の助けをえて、祭服を着衣。その後、司教はミサを捧げる新司祭の両手に聖香油の塗油を行った。キム新司祭の姉夫婦によつて奉納されたパテナとカリスが新司祭に授与された。式は新司祭が共同司式者として加わり、感謝の祭儀にうつった。

ミサの最後に行われた祝賀式典ではまず、司祭団を代表して平田敬神父がお祝いとお祈りされた。その間、司教はミサを捧げる新司祭の両手に聖香油の塗油を行った。キム新司祭の姉夫婦によつて奉納されたパテナとカリスが新司祭に授与された。式は新司祭が共同司式者として加わり、感謝の祭儀にうつった。

3月20日(月・祝)、聖ヨセフの祭日にペトロキム・ジョンゴン(金貞根) 助祭の司祭叙階式がカテドラル大名町教会にて執り行われた。宮原良治司教主司式で約45人の司祭が共同司式した。



宮原良治司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 一部60円

4月の意向

【世界共通】若者たち
【日本の教会】新入生・新入社員への励まし
教皇様の意向のために祈りましょう

小さなイエスの弟子として

鐘が鳴り響く中で始まった、司祭叙階式のミサ。招きの言葉で、宮原司教は「いづくし深い神が教区に大きな恵みと喜びを与えてくださった」と述べた。韓国からも3人の司祭がこの喜びを共に祝うために駆けつけた。キム助祭の姉夫婦と親戚、友人、信徒が韓国から40人ほど参列、全体で約600人の会衆で聖堂は埋められた。

時の話題

新年度を迎えて

今年の3月で3年間勤めていた仕事を退職しました。3月末に2週間頂いた休暇中、職場では今どんなことをしているだろうか、こんな流れだろうな、これをしておかないといけないな、と思わず考えながら過ごしていました。

果だと評価しています。4月からは、今までの職場とは違う職種にチャレンジしてみようと考えています。皆誰しも新しい環境で新しく何かを始める時は、成し遂げようという強い意志と希望がそこにあることを信じているからこそ挑戦できるのではないのでしょうか。しかし、それに伴い不安や緊張が心の中にあるのも事実です。

「主の慈しみに生きる人はすべて、主を愛せよ。主は信仰ある人を守る」(詩編31・24)

新しい環境、新しい生活、新しいことにチャレンジする皆さんが、神様の愛される子どもとして地の塩世の光となり神の平安と希望のうちに一歩を踏み出せることをお祈りしています。

久留米教会 藤田 真弓

新司祭の略歴



1971年韓国ソウル生まれ、会社勤務を経て、韓国光州神学大学、大田神学大学で学ぶ。2009年9月に来日。日本語を学習。その間、司教館に在住。大名町教会にて2014年2月朗読奉仕者に、2015年2月祭壇奉仕者に選任される。2016年2月、カテドラル大名町教会で助祭叙階。

てくれることに感謝の意を表した。続き、キム新司祭が司教、司祭団、修道者・信徒に向けて感謝の気持ちを述べた。キム新司祭は「祈りのうちに努力していきます。この小さなイエスの弟子のために祈ってください。私も皆様のためにお祈りします」と挨拶を結んだ。そして韓国から来ていた姉夫婦を紹介した後、姉夫婦の前にひれ伏して挨拶し心からの謝意を示した。ミサの終わりにキム新司祭が全会衆に向けて初めての祝福を行った。

今村信徒発見150周年を祝う

信仰の伝達、これからの一歩

信者が新司祭に挨拶をし、新司祭から祝福をうけるために列に並んだ。キム新司祭のお姉さんは「とても嬉しいです。やさしい心と姿で、信者のことを心に留め、良い司祭になることを願っています」と胸の内を分かち合った。

澄み渡る青空のもと、この日を祝おうと約700人が今村教会(聖堂は国指定の重要文化財)に集った。ミサの前には大刀洗混声合唱団のコンサートが聖堂で行われ、祈りの込められた歌が捧げられた。

鐘が鳴る中、子どもたちがバチカン市国の旗を手に、教皇庁大使チエノットウ大司教と宮原良治司教を迎えた。

(2面に続く)



2月26日、今村教会で信徒発見150周年を記念する行事が行われた。テーマは「信

みちくさ

イエスがキリストとなられたのは「復活」によってである。復活によって、人が罪の世界から救われ、閉っていた天国の門が開かれ、人が天国に行けるようにしてくださったことが明らかになったのである。感謝しなければならぬ。さて、イエスを信じる者の最終的で最高の目標は「天国での幸せ」である。そこにいられてもらうためにはイエスの愛の教えを生きたことである。それによって私たちはその最終的目標に達することができるのである。ということ意識した生き方が必要となるということである。イエスのみ言葉を思い出す。「神のみ旨を行う者が天の国に入る」(マタイ5章参照)、「天の国に宝を積む生き方をすること」(マタイ19章参照)など。かつての信仰の祖先が歩んだ道を悪魔と闘いながら歩み、勝利している。イエスは人の復活についても話しておられる。「私が来たのは信じる者に永遠の命を与え、復活させるためである」(ヨハネ6章参照)など。では、イエスの言われる復活はいつ起こるのだろうか?それは、イエスの再臨の時である。その時、すべての人は復活するのである。そして公審判を受け、天国行きか地獄行きに分けられてしまふ。ならば、私審判(個人の死の時に受ける)で先に天国に入っておかねばならない。そして復活させられる時、「良い復活」ができるようにしておかねばならない。今はその準備期間である。洗礼によって一度罪の世界から復活して神の子らとされた私たちがイエスの愛の道を歩みますように。

(S)

今村信徒発見150周年 (1面からの続き)

ミサは教皇大使の主司式で行われ、今村教会出身の司祭を含めた11人が共同司式した。ミサの初めに教皇大使が教皇フランシスコの祝意を伝える教皇庁国務長官ピエトロ・パロリン枢機卿の書簡を代読した。書簡の中で「教皇様は...この記念祭を機に、進んで共同体の一員となり、イエス・キリストの福音を証しする弟子となって、信仰の先人たちに誉を帰

するよう励まされます」と述べられている。チエソットウ大司教は説教の中で、美しい聖堂に象徴される、先人たちの信仰や犠牲、また2月7日に列福されたユスト高山右近の生涯に触れ、感謝を捧げた。また、当日の福音朗読から読み取れる、神の愛の計らいに信頼して生き、豊かさを強調し、キリストの弟子として、「自分を神様の御手にゆだね、愛に満ち一人ひとりを心にかけてくださる神さまのお計らいに信頼を置きましよう」と語りかけた。説教の最後には昨年の熊本地震の被災者のための祈りもさ

さげられた。記念式典で宮原司教は、現代の嵐に惑わされず、身内だけでなく地域の人々に福音を伝えていきたいと思います、と信者らを励ました。今村・本郷教会の主任司祭、竹森勇神父は記念行事の準備を進めてきた関係者と参列者に感謝を表し、これからの信仰伝達の大切な使命に一致団結して今村教会の保護者聖ミカエルの保護の下に歩んでいきたいと思います、と述べた。今村教会信徒会長の久次桂二氏は2月16日から18日まで、長崎の大浦から今村まで信徒・修道女ら9人で徒歩巡礼を行ったことに

触れ、「新鮮で深い喜び」を感じたと述べ、これからも「慈悲の行いを愚直に行っていきたい」と語った。ミサ後は信徒会館と聖堂前に設置された大型テントにて祝賀会が行われ、喜びを分かち合った。祝賀会では地元の人たちの協力で作成された、今村の信徒発見物語のDVDが上映された。「明日からまた勇気を持って一歩を踏み出しましょう」との言葉で散会した。

皆さんのお祈り。これからはどうぞ、お祈りで支えてください」と挨拶した。ミサ後、祝賀会が信徒会館で行われた。司教は、「今日のこの盛大さから行く、司祭叙階の時はすごいことになりましたね」と話し、会場は笑顔に包まれた。浄水通教会では、何年前かの年間テーマ「召

命」の年に、「浄水通教会から司祭・修道者を召し出す祈り」を起案し、ミサ後に唱えていた。今日、その祈りが実を結び、喜びの日を迎えることができた。信徒たちは、「主は私たちの祈りを聞き入れてくださることを強く確信した1日になった」と喜びにあふれていた。

被災者にとってこれが本当の復興につながるのかなど、疑問の声も聞かれた。高見三明大司教主司式のミサには、ベースのスタッフをはじめ近隣の信徒も小聖堂が溢れるほどに集った。ミサの中で、大司教は、スタッフを、労い、また感謝の言葉を述べ、亡くなられた方々、今なお不自由な生活を強いられている方々のために祈り続けるようにと願った。

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 (SOU-EN)
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

朗読奉仕者選任式 私は「はい」といいます



聖書を受け取る船津神学生

四旬節に入った3月5日、久留米教会では、宮原良治司教の司式のもと、二人の助祭、神学生も奉仕者として駆けつけ、ペトロ船津亮太神学生の朗読奉仕者選任式が行われた。

式の中で名前を呼ばれた船津神学生は司教の訓話を受け、聖書を手渡され、正式に朗読奉仕者として選任された。司教は説教の中で、「神さまは、その民の中から、民のためによろこんで奉仕する

人を探しておられる。日々聖書を読み、良き言葉の奉仕者となってください」と励ました。船津神学生は式後の挨拶で、「久留米に帰ってくる度に、この教会に守られていると感じます。3年間ここまでやってこられたのは皆さんのお祈りのおかげです」と述べた。さらに選任にあたり以下のようにその思いが寄せられた。「朗読奉仕者として新たな一歩を始めるにあたり、これまで私とともに歩んできた方々のお顔が思い浮かびます。頼るべき親や家族と別れ、孤独の悲しみにうちひしがれる方。自分にはどうしようもない現実を前にただ泣き叫ぶしかない子。病の苦しみの中にあつて生きる希望が見出せない人。子の命の危機にあつてた一心に祈りをささげる親。選任式で私は名前を呼ばれ『はい』と返事する。それはラテン語で

「adsum」。私はここにいます。その時神は私を民の中から呼ばれ、み言葉を委ねられる。ここにいる私たちが神のみ言葉によって生きる力を得るために、私はみ言葉を黙

想し、それを生きる朗読奉仕者として一歩を踏み出す」と。式後は、信徒会館に場所を移して、和やかに茶話会が催された。

浄水通教会に召命の喜び溢れる
助祭・司祭候補者認定式
3月12日、四旬節第二主日の浄水通教会（主任司祭II寺浜亮司神父）では、小教区始まって以来の「助祭・司祭候補者認定式」が行われた。浄水通教会の信徒を始め、茶山教会（寺浜神父は茶山教会主任兼任）の信徒、近隣教会信

徒およびベトナムのコミュニティ信徒も集まり200人ほど集まるといって、この日、助祭・司祭候補者として認定されたのは、ヨハンネス・マリア・ミカエル古市匡史神学生（哲学科2年生）。ミサの中の祝賀式で宮原良治司教は、「これからも信徒の祈りが必要であり、祈りによる垣根が、古市神学生が司祭への道から逸れない支えとなるので、引き続きお祈りください」と話した。

その後、古市神学生は、「神学校は『セミナリオ』。セミナリオの意味は『苗床』。神学生は苗。苗には水や肥料が必要。その水や肥料は信徒の

この日、助祭・司祭候補者として認定された古市神学生（左）

初めて青年大会をするにあたり、「つなぐ」というテーマにした。これまでの自分と神とのつながりや仲間とのつながりを振り返り、これからどのようにその二つのつながりを深めていきたいか、ということを中心に考える機会にしたいと思ったからである。神学生や神父、シスターも参加し、20人程が集まった。

1泊2日の中で、レクリエーションをしてたくさん笑い、神父のお話を聞いて分かち合い、祈りやミサの時には、聖堂で心を静かにして神に心を向けることができた。皆で温泉に行ったり、自由に交流する時間もあり、仲を深めることができた。

青年大会代表の大澤恵李さん（光丘教会）は次のように述べる。「これからの青年会にとって、小教区や地区の枠を超えてつながることが何よりも喜びと感じました。出会いを用意してくださった神様、協力してくださった神父様や多久教会の方々、参加してくれた青年たちへの感謝の思いでいっぱいです。」

今後、さらに福岡教区内での青年の輪を広げながら、様々な世代の方と共に私たちも歩んでいきたいと思っております。未熟な私たちですが、同じ信仰をもつ教区民の一員として、微力ながら働くことができれば幸いです。」

東日本大震災から6年目になる3月11日、長崎教会管区司教団及び各教区震災担当司祭が大槌ベースに集い、ミサに閉所式が行われた。ミサに

先立ち、管区司教団や司祭たちは、仮設住宅や数メートルにも及ぶ防潮堤、またかさ上げされた被災地の現況を視察し、本場に必要工事なのか、

復興再生に向けての歩み続く
大槌ベースボランティア受入終了

計報
浦川スミ子修道女
(シヨファイユの幼きイエスス修道会)
1921年生まれ。2月25日に帰天。享年95歳。

幼稚園設置者変更のお知らせ
宗教法人カトリック福岡教区 カトリック聖クララ幼稚園、二日市カトリック幼稚園が学校法人福岡聖マリア学園(理事長II青木悟神父)カトリック聖クララ幼稚園、二日市カトリック幼稚園として新年度から新しい歩みを始めます。

【奉獻生活者のための黙想会】
期日：①5月8日(月)17時半～15日(月)9時 ②6月18日(日)17時半～27日(火)9時
③7月3日(月)17時半～10日(月)9時
指導者：①②来住英俊 神父(御受難修道会) ③染野治雄 神父(御受難修道会)
費用：65,000円(税込・宿泊・食事・指導料含む)
黙想会の申込締切は開催の一週間前まで
4月の月例黙想会も募集中です
カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

PRAYER GROVE MUNAKATA

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店 青木 彰
ヨハネ
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

年間目標

いつくしみから
踏み出す第一歩

案内板

会合と催し

4月のこよみ

美野島司牧センター建替資金の協力を！

美野島司牧センターの建替えについては教区報 2017年3月号をご覧ください。

美野島司牧センター建設募金送付先

郵便振替：01760-6-20729

加入者名：カトリック福岡司教区

★通信欄に「美野島司牧センター建設募金」とお書きください

大名町教会「施設使用」について

各委員会、各グループ等の集りで使用申込される場合、
『大名町カテドラルセンター』使用願いを必ず提出してください。

各教会にく『大名町カテドラルセンター』使用願いを配布しますので、必要な時、その都度コピーしてご利用ください。

また、以下のこと、ご了承ください。

- ①使用申込が重なっている場合、使用不可あり。
②使用申込は6ヶ月前から受け付けます。
③使用献金について確認され、使用当日にご献金ください。

結婚講座（福岡・熊本地区）

＜福岡地区＞

日時：5月13日～6月10日 毎土曜日 19時～21時半
場所：カトリック大名町教会
問合せ：☎092・741・3687

＜熊本地区＞

日時：5月13日～6月10日 毎土曜日 19時～21時半
場所：カトリック手取教会
問合せ：☎092・352・3030

※参加費：カップルで10,000円(カップルでの参加が原則)

2017年 北九州地区聖書講座

＜年間テーマ＞近づいて来られるイエスを知り、イエスと出会う～福音書を通して典礼季節とともに

日時：4月30日(日) 14時～16時30分

場所：カトリック小倉教会

講師：L.ベリオン神父(パリ外国宣教会)

テーマ：イエスの復活の「証言」をとおして

主催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

問合せ：松尾 隆 ☎090・7580・3494

福岡地区カトリック女性の会 第34回総会

日時：4月22日(土)

9時受付、10時～総会、12時～昼食

12時50分～講演、14時50分～ミサ

場所：カトリック大名町教会 1階講堂

講演：たまにはやってみるか

講師：来住英俊神父(御受難修道会)

ミサ主司式：宮原良治司教

参加協力費：500円(弁当希望者別途500円)

申込み〆切：4月16日(日)

託児申込み：要予約(各小教区の委員へお尋ねください。)

問合せ：角田 ☎090・5940・1344

2017年福岡教区第52回クルシリオ

テーマ：私たちカトリック信徒の使命とは

日時：5月4日(木) 10時～6日(土) 15時

場所：福岡黙想の家(宗像市名残1056-1)

参加費：16,000円(全宿泊費、食費含む)

問合せ：徳永哲 TEL/FAX 093・592・0316

カトリック浄水通教会のホームページとFacebookページが開設されました。どうぞご利用ください。ホームページアドレス jysuidori.info

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

福岡黙想の家ご案内 4月

1日(土) ロザリオの会(黙想と祈り)10時～15時(指導:内山神父)
3日(月)～7日(金) オプレート会(空室0)
8日(土)～9日(日) 月例黙想会(募集中)
28日(金)～5月1日(月) 日本心身医学協会(空室あり)

4日(木)～6日(土) クルシリオ(空室0)
6日(土) ロザリオの会(黙想と祈り)10時～15時(指導:内山神父)
※ただし、ホームページ休止中です。
直接お電話またはメールでお問合せください。

*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：山上の教え

日時：4月20日(木) 10時～15時

内容：悲しむ人々は、幸せである… マタイ5・5

指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)

問合わせ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

次回：5月11日(木) 義に飢え渴く人々は…マタイ5・6

☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186

玉名郡和水町蛸浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：4月8日、5月6日、5月20日

10時～11時45分

場所：カトリック大名町教会小聖堂

- 1日(土) †J.クレハン(2008年 荒尾教会)
- 2日(日) 四旬節第5主日
- 3日(月) †A.アレグリーニ(2006年 ロザリオの園)
- 4日(火) †ペトロ黒川博(2002年 大牟田教会)
- 6日(木) 常任司教委員会
†アウグスチノ片岡哲夫(2016年 高宮教会)
- 7日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
- 9日(日) 受難の主日
- 10日(月) 責任役員会
- 11日(火) †ヨハネ床島藤吾修道士(2014年 司教館)
- 12日(水) 聖香油ミサ 司祭叙階・銀祝賀会
- 13日(木) 主の晩さんの夕べのミサ 司教座聖堂献堂記念日
- 14日(金) 主の受難(大斎・小斎)
- 15日(土) 復活徹夜祭
- 16日(日) 主の復活
- 17日(月) 使徒職協力者の集い
- 22日(土) 教区カトリック幼児教育教職員研修
福岡女性の会総会・ミサ
- 23日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
- 24日(月) 教区司祭集会
- 25日(火) 聖マルコ福音記者 †J.L.カズレ(2008年 サンシルピス)
- 29日(土) 聖カタリナ(シエナ)おとめ教会博士
- 30日(日) 復活節第3主日
- 【5月】
4日(木) クルシリオ(～6日)
5日(金) 初金ミサ・サーリスの集い
6日(土) クルシリオ講話・ミサ
7日(日) 世界召命祈願の日

■ゴチックは司教日程

福岡

- ◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時)毎週月曜11時～12時半(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(問合わせ先)☎092・521・2503 蓮尾
- ◆聖ドミニコ信徒会集會(日時)4月1・29日(土)14時～16時(場所)箱崎教会(内容)分かち合い・シエナの聖カタリナの祝日・ミサ(問合わせ先)☎092・651・3867 箱崎教会
- ◆聖書に集う会(日時)4月5日(水)14時～15時半(場所)サンパウロ福岡宣教センター13階ホール(問合わせ先)☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)
- ◆祈りの集い・勉強会(日時)4月8日(土)14時から(場所)聖パウロ修道会福岡修道院(指導)永富久雄神父(聖パウロ修道会)(問合わせ先)☎092・541・3730 松山
- ◆レジオマリエ福岡クリア(日時)4月9日(日)13時から(場所)高宮教会(問合わせ先)☎090・5936・3831 今野
- ◆震災のための祈りのリレー(日時)4月11日(火)ミサ7時から・夕の祈り(テゼの祈り)
- ◆カレル在世会集會(日時)4月17日(月)10時半から(場所)福岡女子カレル会修道院・テレサの家(内容)ミサ・講話(指導)中川博道神父(カレル会)(問合わせ先)☎095・828・2350 鶴池
- ◆福岡召命を共に祈る会(日時)4月18日(火)13時半から(場所)大名町教会(内容)ロザリオの祈り他(問合わせ先)☎092・921・4532 山口
- ◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)4月18日(火)11時から(場所)聖クララ寮(内容)復活節のグレゴリオ聖歌ミサ(問合わせ先)☎096・380・5686 堺
- ◆在セフランシスコ会集會(日時)4月23日(日)14時から(場所)高宮教会(指導)ジョンソン神父(カプチン修道会)(問合わせ先)☎092・843・5831 岩崎
- ◆ラスキン黙想と祈りの集い(日時)4月28日(金)19時45分から(場所)大名町教会小聖堂(問合わせ先)☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)
- ◆スピリチュアルケア講座(日時)4月29日(土)9時半～16時半(場所)久留米シティプラザ(講師)W・キッペス神父(費用)3000円(申込・問合わせ先)☎090・956・8007 野川 ※要申込み 4月20日〆切
- ◆美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます！建て替え中も活動は続きます。◆ホームレスの方の手作りのお弁当配布 毎週火曜日13時から15時30分 美野島公園 ◆ホームレス支援夜回り 第一金曜日20時 大名町教会(スープの会と協働)(問合わせ先)☎092・431・1419 M・コース神父

北九州

- ◆北九州召命を共に祈る会(日時)4月20日(木)14時から(場所)小倉教会(内容)ミサと茶話会(問合わせ先)☎0949・24・9905 藤井
- ◆小倉祈りの集い(日時)4月28日(金)13時半～15時(場所)小倉教会信徒会館(指導)牧山勝美神父(内容)分かち合い・賛美と感謝の祈り(問合わせ先)☎090・3985・5209 松田
- ◆佐賀祈りの集い

熊本

- ◆聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時)毎週金曜日10時半～12時(場所)手取教会信徒会館(内容)ミサと祈り(問合わせ先)☎0952・30・8347 吉武
- ◆セントポール福岡 5月3日(水)～6日(土)の期間、研修のためお休みいたします。
- ◆編集後記 いろいろな花が咲き乱れ、小鳥の声も高らかに、新しい歩みを応援しているようだ。真新しい制服にカバン。これからのことが待っているのだろう。期待と不安が入り混じるが、皆の祈りが後押しをしてくれる。神様、彼らをあなたのみ旨に導くように導いてください。「よし」。さあ、希望を胸に前に進め！



人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は
メモリアルホール
業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院
*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

英語で聖書をよみませんか。
Sr.Helen Poovakottu (Sr.ヘレン)
場所：礼拝会福岡修道院
住所：福岡市中央区今川 1-2-25
☎ 092-753-7565
*詳しくはお電話でのお問合せをお願いいたします。

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ！
<http://www.paulus.jp>
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00~18:00(月~土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930